



# 業界関係者を対象に多様なセミナー LGBTからマイナンバー、広報対応まで

JATAは「ツーリズムEXPOジャパン2015」期間中の9月25日、旅行業界関係者を対象に多様なテーマで最新情報を紹介する業界向けのセミナーを開催しました。

## LGBT市場が重要なセグメントに

JATAが主催したセミナー「LGBTの旅行市場について」では、国際ゲイ・レズビアン旅行協会(IGLTA)本部コミュニケーションディレクション部長のロアン・ハルデン氏が講演し、米国内だけで1年間の市場規模が750億〜1000億ドルに達するLGBT市場について、旅行業界にとって極めて重要なセグメントであることを紹介しました。

国連世界観光機関(UNWTO)によると、旅行業界だけに限らず、世界経済全体に占めるLGBT市場の位置づけも高まつており、2014年の国際旅行市場におけるLGBTの到着旅行者数は11億3300万人、その消費額は2000億ドルに及ぶと推計されています。

また、世界経済の減速傾向が続く中で、LGBT旅行者の旅行頻度や旅行支出は増加傾向にあり、ハルデン氏は、「その需要の



LGBTの旅行市場について説明するハルデン部長

底堅さからも注目されると同時に、一旦ブランドとして認めた場合には、長期にわたってリピーター化するという需要特性も、LGBT旅行者の存在を貴重なものにしていく」と強調しました。

## マイナンバーの利用開始へ対応

また、来年1月から社会保障や税金などで利用が開始されるマイナンバーについても、JATAの主催により「マイナンバー対応準備」これを行っていないとNGと初回収集だけでは済まない落とし穴」と題するセミナーが実施されています。

セミナーでは、企業における準備として、(1)関係組織のメンバーを含めた横断的なプロジェクトを通じた進め方の決定、(2)対応スケジュールの作成、(3)影響業務やシステムの洗い出し、(4)マイナンバー導入後の影響範囲の明確化、(5)課題の抽出と対応策の検討、などを行う必要があると指摘されました。マイナンバーでは、扱いを誤ったり不正に

扱ったりすると実刑や罰金の刑罰に処せられるなど、個人情報と比べて厳しさが強化されているため、ガイドラインを順守した対応の実現が重要となることも確認されています。

## メディアに頼られる広報担当に

JATA広報委員会の主催によるセミナー「こんなネタがニュースになる〜メディアに取り上げられやすいPR(広報)〜」では、テレビ東京「ワールドビジネスサテライト」の阿部将樹デスクが講師を務め、「独自の切り口を提示することが番組のコンセプト」と強調しました。

阿部デスクは、番組で取り上げたいくなるニュースのポイントとして、(1)本来のニュースバリュー、(2)映像としての面白さ、(3)意外な影響や広がり、(4)関心を呼びやすい分野などを挙げています。

さらに、メディアが頼りたくなる広報担当者としての、(1)トップに近く経営の環境として広報戦略を構築できる、(2)社内の論理から離れて会社を客観視できる、(3)営



ワールドビジネスサテライト・阿部デスクによる広報セミナー

業部門・店舗など現場とのコミュニケーションが良好、などを指摘しました。

## 「Team EUROPE 美しい村30選」地域の魅力を紹介

また、今年6月に「美しい村30選」を発表したチームヨーロッパも、それぞれの観光素材やインフラなどについて、展示会場のブースで業界向けに特別セミナーを実施。「ギョルヤス周辺とトルコ」チッタスローの魅力、「トルコ大使館文化広報参事官室」コンウイと英国ウエールズ地方の魅力、「コンウイ行政区観光コミュニティ・公共交通局」ポルヴォーとフィンランドの魅力、「ビジットフィンランド」、「サンシルラポピートリクヴィル及びフランスの魅力」(フランス観光開発機構)をテーマにプレゼンテーションを行ったほか、写真家の若月伸氏が美しい村を商品化するに当たってのアドバイスなどについて講演しています。



チームヨーロッパ・ブースでの「美しい村」プレゼンテーション